



2019年12月12日

各位

株式会社 大塚家具

代表取締役社長 大塚 久美子

(JASDAQ・コード番号 8186)

問い合わせ先

取締役執行役員経営管理本部長

狛 裕樹

電話 03-5530-3770

業績予想の修正に関するお知らせ

2019年5月15日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年4月期通期業績予想（2019年1月1日～2020年4月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	44,200	157	63	25	0.98
今回修正予想 (B)	未定	未定	未定	未定	未定
増減額 (B-A)	-	-	-	-	
増減率 (%)	-	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (2018年12月期)	37,388	△5,168	△5,313	△3,240	△172.15

※当社は決算期(事業年度の末日)を毎年12月31日から毎年4月30日に変更いたしました。

決算期変更の経過期間となる2020年4月期は16ヶ月決算となります。

2. 修正の理由

当期においては、16ヶ月決算であります。前期と比較して売上高が増加するほか、営業利益、経常利益及び当期純利益の黒字化を見込んでおりました。

しかしながら、当第3四半期累計期間（2019年1月1日～9月30日）におきましては、9月には増税前の駆け込み需要等があり月次売上高は前年同月に対し増加となったものの、新築まとめ買い需要依存度の高い大型店における入店件数、接客件数の低迷等により、売上高が計画を下回りました。また、消費増税の反動および大型台風等の天候不順により10月以降の受注が減速していること、ECサイトの開発の最終段階においてプログラムの修正に時間がかかり、当初想定よりも事業の進捗が遅延していることなどから、10月、11月の売上高も計画を下回って推移しております。

一方、2019年11月30日から12月31日までの間に行っている通常販売価格より最大50%OFF、約12,000品目一斉値下げという大規模セールスの動向、また事業展開開始当初で今後見込まれる売上の時期や規模感の見通しを見極める必要があったため計画には織り込んでいなかった中国における事業展開の状況による影響を考慮する必要があります。更に、本日「ヤマダ電機との資本提携契約の締結、第三者割当による新株式及び新株予約権の発行並びに主要株主、主要株主である筆頭株主及び親会社の異動に関するお知らせ」で公表いたしました株式会社ヤマダ電機との資本提携による影響も考慮した上で業績予想数値を再度検討する必要性も生じました。

そこで、当社としては、本日現在、売上高が当初予想値を下回り、営業損失、経常損失及び当期純損失を計上する見込みであるものの、具体的な予想値については上記状況を踏まえて算定が困難な状況であり、各要因による影響を精査中であることから、業績予想を一旦未定といたします。業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表する方針です。

（注）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上